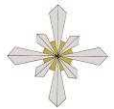


向陽中学校だより<第3号>



走れ向陽!

～夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒
<重点目標> 他とつながり、自己の目標達成に向け全力で努力できる

平成29年 5月15日(月)

<発行者> 校長 箭内仁史

〒976-0037

相馬市中野字桜町76

TEL 35-2348 Fax 35-2849

大きな事件、事故もなく五月晴れの晴天に恵まれたゴールデンウィークが終わりました。ご家庭での事前のご指導ありがとうございます。本格的に学習や部活動に取り組むのにはよい季節となりました。実際に子どもたちも文武両道に励む姿が多く見られます。今週は中体連陸上大会が実施されます。本当は疲れているはずの1年生からは、こちらよりも先に「おはようございます。こんにちは。」の元気なあいさつをたくさん受け、元気をもらいます。

～本格的に生徒会がスタートしました～

今月2日に前期生徒会総会が開かれました。最初に本年度の生徒会活動方針として(活動テーマ)『Next Stage ～ボくらがつくる! 明日も“笑顔”～』が、〇〇生徒会長から報告されました。ボくら、つまり生徒会執行部だけでなく、全校生みんなで心から笑って過ごせる向陽中学校をつくるため、先輩が築いてきたよき伝統を引き継ぎながら、一人ひとりが一步を踏み出していこうという願いが込められています。具体的には、「いじめのない学校」「地域から愛される学校」です。相手のことを考え、自ら行動し、文武両道を目指して取り組み、ベストを目指そうという頼もしい活動方針が示されました。リーダーシップとフォローシップの両輪をうまく動かして、一段上の向陽中を作り上げてほしいと思います。執行部への質問「活動の中で何が一番大切ですか」に対し、「全て全力で取り組みます」という力強い回答が示されました。今後の活動に大いに期待しています。各学年の目標を紹介します。



- 1 学年目標 「元気・本気・活気・けじめのあるよい学年をつくろう」
- 2 学年目標 「中堅学年として一年生のお手本、三年生のサポートをする」
- 3 学年目標 「最上級生としての自覚を持ち、積極的かつメリハリのある生活を心がける」

その後、各種専門委員会や部活動の今後の活動計画や予算などの提案がなされ、承認されました。前向きな意見とそれらに対する回答がなされました。何れもとても真剣な態度で的を射た内容ばかりでした。最後の講評では、伊東教頭が「各委員会の活動計画の中に、今年度の新しい取り組みが示されており、前向きな取組が素晴らしい」という言葉で結びました。

～新聞に慣れ親しむ～

学校などで新聞を教材として活用することをNIE(Newspaper in Education = 「エヌ・アイ・イー」と読みます)といいます。相馬市による創意工夫事業の一つとして、向陽中では毎朝各クラスに新聞が届きます。身近なできごとから日本や世界の出来事に関心を持ってもらい、新聞に目を通す習慣を身につけることが一番と考えています。それらが広がり、友だちや家庭で話題にでき、自分の意見が持てるようなれば素晴らしいと思います。将来社会で必要とされる自分の意見をまとめて書く力や、人前で発表できる表現力につなげたいと考えています。NIEを実践している中学校の生徒の感想を紹介します。



- ・新聞の切り抜きが宿題になったので、新聞を見る習慣がついた。
- ・新聞社が取材した情報や編集の仕方でも同じ事件でも内容が違うんだと思った。
- ・新聞には暗い話も多いけれど、反対に地域であった温かいニュースとかもあって「新聞って面白いんだなあ」と思いました。日本に住んでいるんだから、日本の良いところも悪いところもちゃんと知っておきたい!!という気持ちが大きくなりました。
- ・今まで新聞を読んだりして自分の意見を持っても、誰かと話すことがなかったけれど、NIEの活動で友達と話し合う機会が増え、新聞は出来事を知るだけではないという考えに変わりました。

〔5月〕学校経営の重点

～どの生徒も「やる気・本気・根気」～

5月の学校生活目標：「けじめのある集団行動と相手を尊重することができる」

◇指導の重点<集団と自分の役割、望ましい人間関係、学習方法の理解、学習環境の整備

☆『いじめアンケート』の実施> (話の聞き方とあいさつ、スポーツの意義とマナー、家庭学習の方法について※部活動を通して礼節や物を大切に扱う心の指導を行う。)

1 一人一人の生徒に、基本的な学習方法の確認と定着を

(1) 一人一人の生徒に基本的な学習方法の確認と定着を

- 学習の準備、授業中の姿勢、返事・発表の仕方、ノートの取り方、後片付け
- 適量の宿題、自主学習の進め、家庭学習の習慣化
- 各教科に応じた学習の仕方『学び方』の指導、読書、学習意欲の高揚

学習のきまり5カ条

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| 1. 注意深く、見る | 2. 集中して、聞く | 3. 少し考えて、読む |
| 4. 大きな声で、話す | 5. 要点をおさえて、書く | |

→「全員が学び合う楽しさのある授業づくり」をめざして：ふくしまの「授業スタンダード」の実践

(2) 何のために勉強をするのか

- 長期、短期の目標を持たせて (6/20、21期末テスト)

2 どの生徒にもやる気(⇒本気⇒根気)を起こさせる支援・指導を

(1) どの子にも、やる気を喚起する担任としての動機付け、奨励、賞賛、評価、配慮・支援を

先生からほめられたり、励まされたりした子どもは、

- ①やる気が出てきます ②自信がついてきます ③希望がわいてきます
④やり始めたことが楽しくなります ⑤能力が伸びてきます

ほめ上手な先生は一人ひとりの子どもを大切に、学級経営もうまくいっています。

- どの生徒にも、「新しいこと、やってみたいことに対する挑戦する心」「分かりたい、できるようになりたいという意欲」がある。

(→ 活動する場、活躍する場、果たさなければならない役割や立場 など)

(2) 様々な取り組みの中で、どの子も活躍できる場を『一人一役→自己存在感』

- 各教科の授業で「分かった、できた」体験を→「やろうとする」意欲付けに
- 委員会や生徒会活動 (5/2生徒会総会) の中で → 責任ある言動、創意工夫
- 中体連大会に向けた特設陸上部や常設運動部活動の中で
→「自分を磨き・鍛え・高める」体験、「何事にもくじけず、やり遂げる」体験を

3 一つしかない「命」や「身体」を大切にする指導の充実を

(1) 「命」や「身体」を大切にする指導は、日常の指導の積み重ねで

→繰り返しの指導、場面を想定した具体的な指導を！

- 道徳教育、生命尊重に関わる各教科等での指導、日常生活指導の中で

(2) 交通事故ゼロ、学校事故ゼロを

- 安全な登下校に留意させ、登下校や地域での事故に遭わない歩行の仕方、安全な自転車の乗り方の指導を徹底する。下校時には必ず一声を
- 落ち着いた学校生活をする中で、校内での事故ゼロをめざす。
- 安全に留意した有意義な休日や連休の過ごし方の指導を (家庭での役割、色々な体験をするチャンス)

(3) 健康診断の結果を生かす

- 健康診断の結果を健康増進・健康管理に活用する。